

テクノプロ・グループ

現在の事業環境と経営方針

テクノプロ・ホールディングス株式会社（証券コード：6028）

2021/2/2

目次

	Page
I : 投資家からのご質問に対する当社の見解	2
II : 当社のESGへの取組み	9
III : 当社におけるデジタル技術の活用	10
IV : 新中期経営計画の策定状況	13

投資家からのご質問に対する当社の見解

1

足元のKPIと事業の反転時期

2

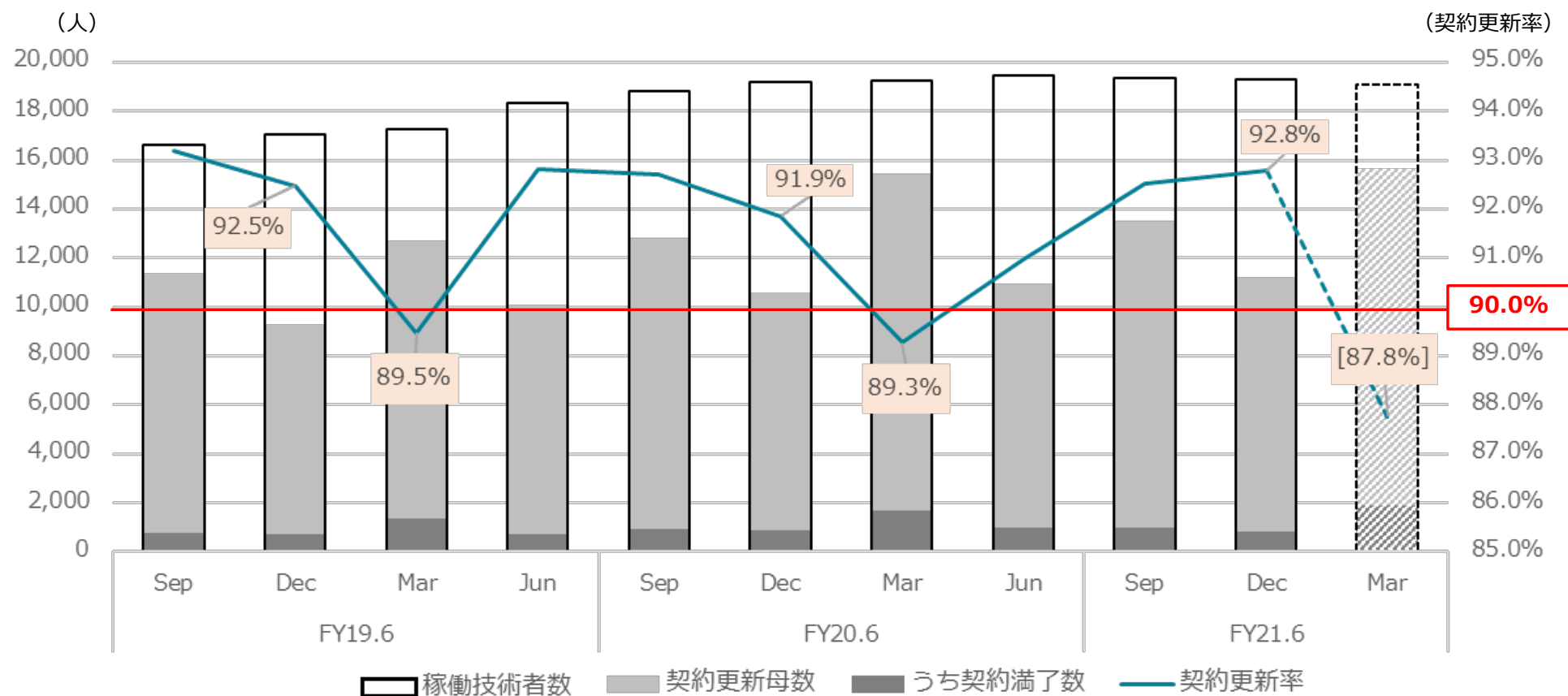
採用の本格再開タイミング

3

技術系人材サービスの外的ショックへの耐性

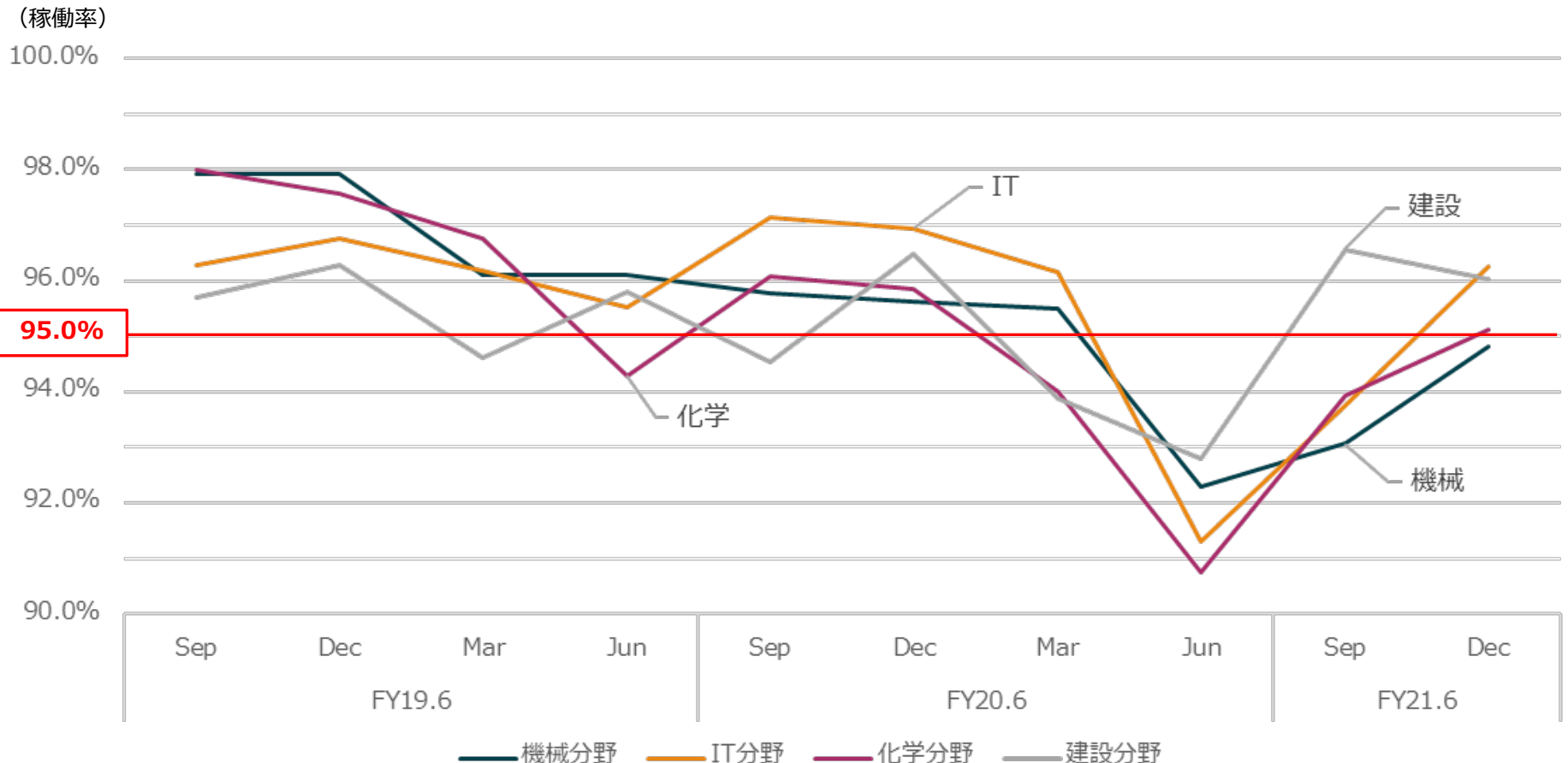
契約更新率の推移（3月、6月、9月、12月）

- 派遣契約の期間は3ヶ月又は6ヶ月のものが多く、3ヶ月ごとに大きな契約更新サイクルが到来（特に3月は、**契約更新母数が全体の約80%**に達し、また、顧客の決算年度に合わせて終了するプロジェクトも多く、通常時でも契約更新率は**90%を若干下回る傾向**）
- 2020年のコロナ禍において、今までのところ大幅な更新率悪化は見られず、同年12月の**更新率は92.8%**（前年同月比 +0.9pt）
- 2021年3月の契約更新率は、**前年同月比で大幅な悪化はないものと見込む**（しかし、契約満了に伴う復社は**1,900人規模**を想定）



技術領域別稼働率の推移（各四半期末）

- コロナ禍において、2020年4月入社新卒を含む新規配属の遅れにより、2020年6月末の稼働率は全分野ともに例年を下回る
- FY21.6に入ると、稼働率はリソース不足の目安となる95%を上回る技術領域も現れ始め、建設分野は1Q以降、IT分野及び化学分野は2Q以降、**中途採用を限定的に再開**

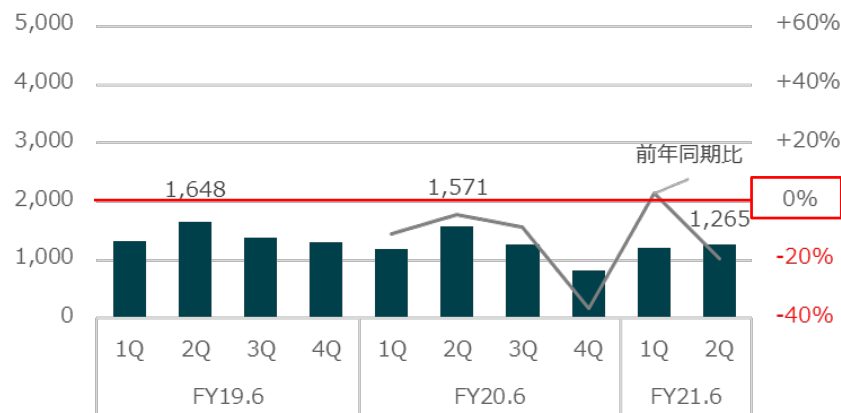


※ ① 機械分野：機械、電気・電子、② IT分野：組込制御、ソフト開発/保守、ITインフラ、③ 化学分野：化学、バイオ、④ 建設分野：建設、①~④以外の「その他」は上記各分野に含まず（以下同じ）

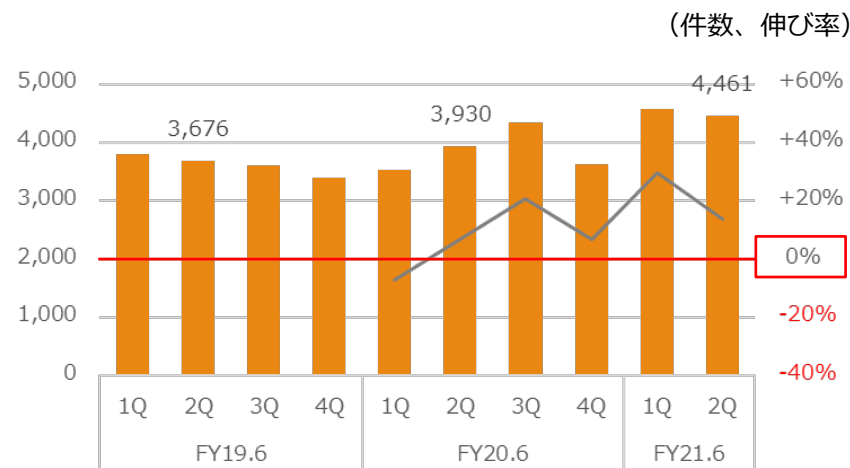
技術領域別新規オーダー数の推移（各四半期累計）

- 2020年4月の緊急事態宣言発出に起因する営業活動量の減少により、FY20.6 4Qの新規オーダー数は全般的に低調
- FY21.6 1Q以降、“With COVID-19”に順応した営業活動の浸透により**新規オーダー数自体は復調傾向**だが、これまでに比べて**求められる経験・技術レベルは高い傾向**があり、顧客の慎重姿勢はまだ続いている状況

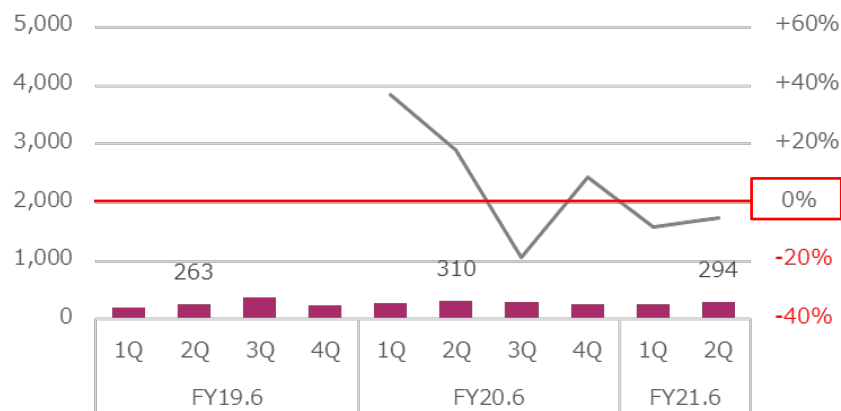
機械分野



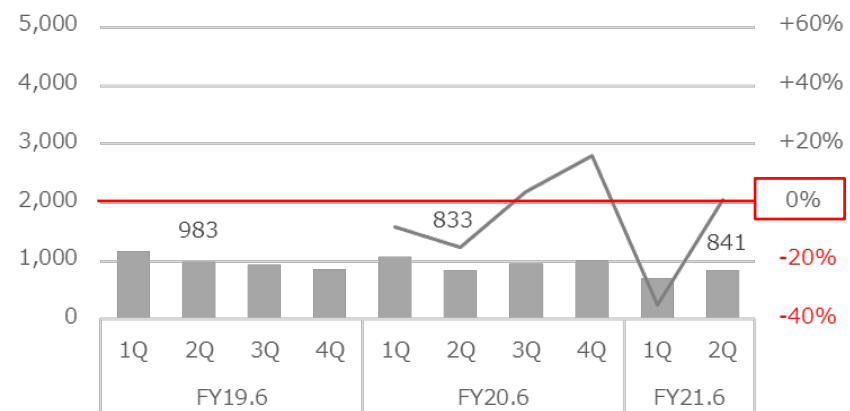
IT分野



化学分野



建設分野

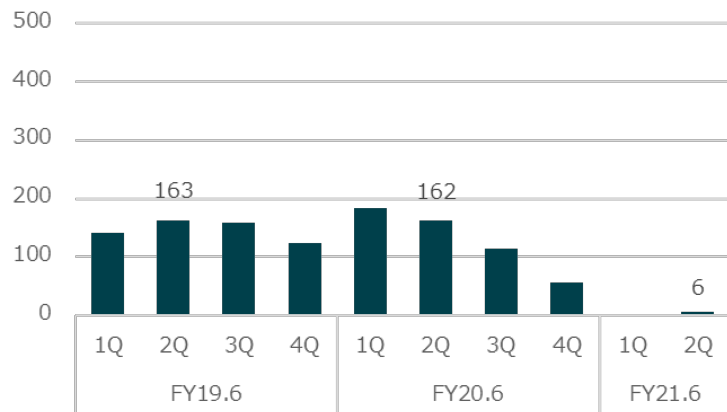


技術領域別中途採用数の推移（各四半期累計）

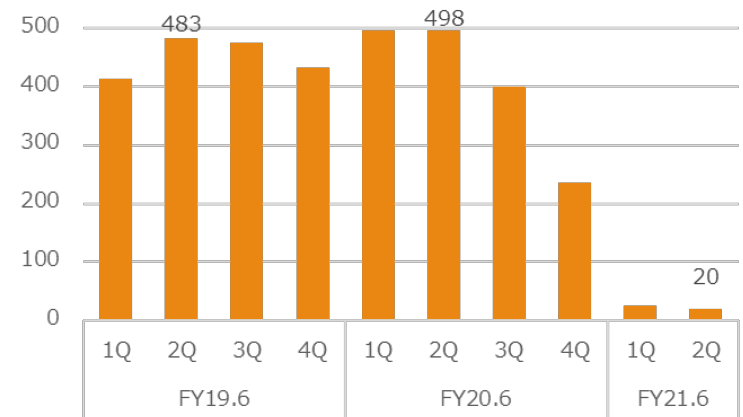
- 稼働率の回復に伴い、リソース確保の観点からFY21.6 2Qより中途採用を再開したものの、**実際の入社までには2~3ヶ月のリードタイム**を要する（2021年1月の中途採用数実績は合計88人、FY21.6 3Qの中途採用数は合計300人程度を見込む）
- FY21.6 3Q以降、需要に応じた中途採用を本格化し、4Qでは**少なくとも退職者数を上回る新規採用を目指す**

(人)

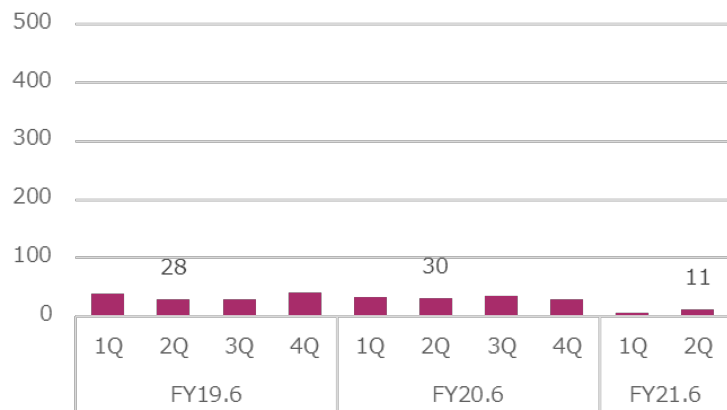
機械分野



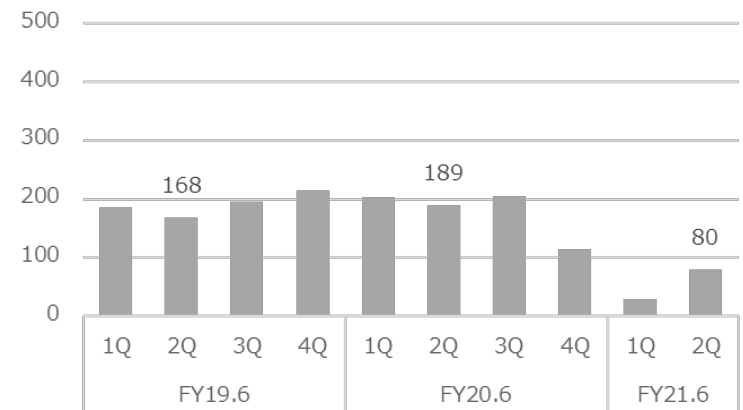
IT分野



化学分野



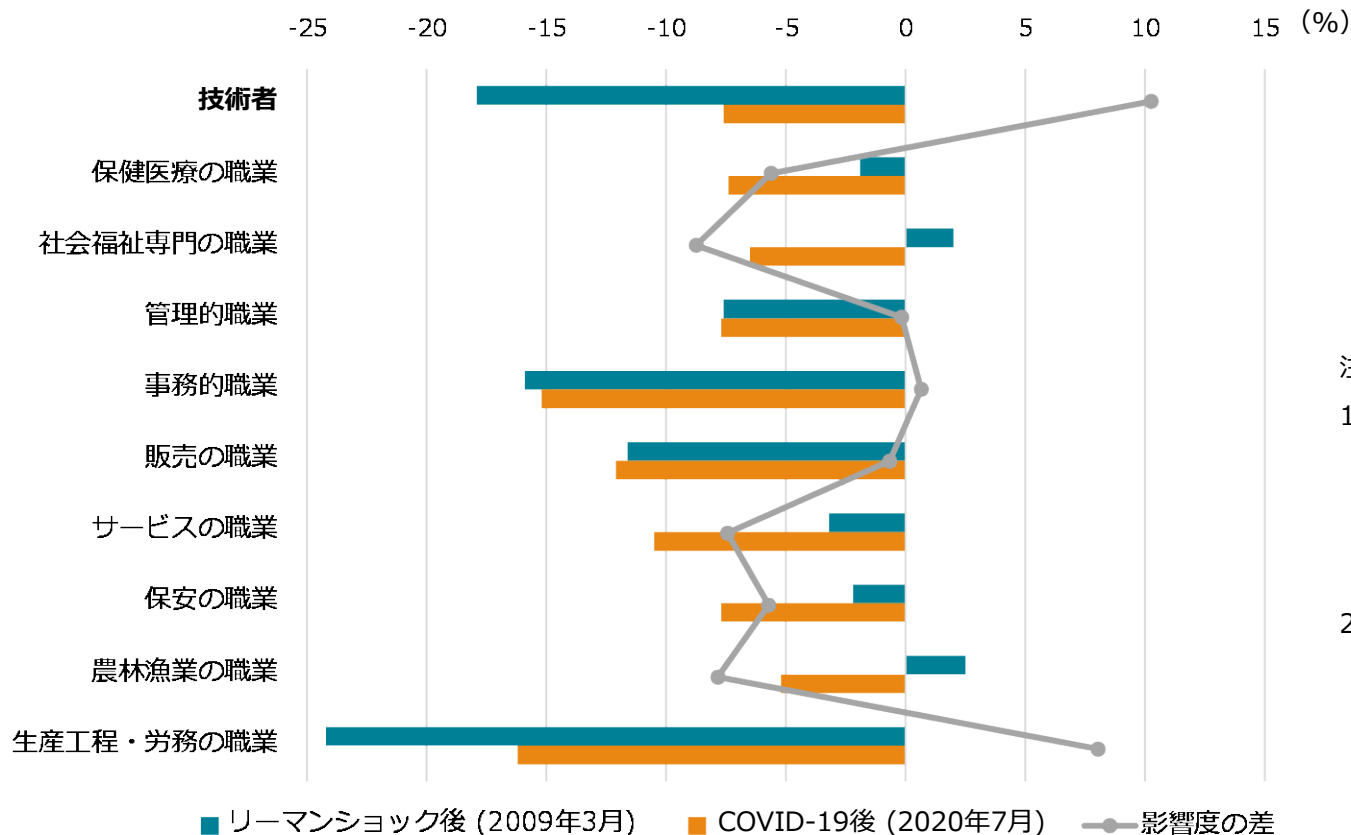
建設分野



技術系人材サービスの外的ショックへの耐性

- リーマンショック時と比較すると、今回のCOVID-19第一波における技術者に対する新規求人への影響は大幅に小さかった
- 過去10年間で技術系人材の重要性が高まった、あるいは競争力維持のためのR&DやITシステム開発の優先度合が高まった可能性を示唆しており、当社ビジネスの底堅さを裏付けている

外的ショック半年後の新規求人数の増減率とその変化



注:

- リーマンショック、COVID-19の影響が、それぞれ発生後6ヶ月経った時点で、各職種に対する新規求人数指数にどの程度表れているのかを比較したもの
- リーマンショック半年後の指数値は2008年9月を100、COVID-19半年後の指数値は2020年1月を100とした指数（季節調整済み）

目次

	Page
I : 投資家からのご質問に対する当社の見解	2
II : 当社のESGへの取組み	9
III : 当社におけるデジタル技術の活用	10
IV : 新中期経営計画の策定状況	13

当社のESGへの取組み

- 事業を通じて社会課題に貢献することを重視し、重要課題のKPIと目標を設定して、毎年12月発行の統合報告書にて開示
- ESGに関する取組みや情報開示も、社会や投資家のニーズを踏まえて継続的に改善

当社のマテリアリティ（重要課題）

I すべての人の可能性を伸ばす

- 人材関連
- 研修受講状況など、10個のKPI

II 技術力で社会に貢献する

- テクノロジー関連
- 戦略分野技術者数など、2個のKPI

III 信頼されるパートナーになる

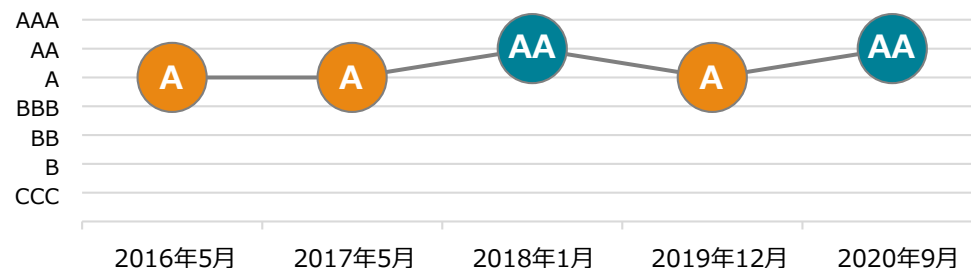
- CSR関連
- CO2排出量など、4個のKPI

IV 持続的に成長する企業である

- ガバナンス関連
- 社外取締役比率など、6個のKPI

MSCIによるESGスコアの推移とESGファンドへの選出

2020年現在、当社はMSCI ESGレーティングのAAを取得しています



THE USE BY TechnoPro Holdings, Inc. OF ANY MSCI ESG RESEARCH LLC OR ITS AFFILIATES ("MSCI") DATA, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT, RECOMMENDATION, OR PROMOTION OF TechnoPro Holdings, Inc. BY MSCI. MSCI SERVICES AND DATA ARE THE PROPERTY OF MSCI OR ITS INFORMATION PROVIDERS, AND ARE PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY. MSCI NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI.

2020 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

2020 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

THE INCLUSION OF TechnoPro Holdings, Inc. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF TechnoPro Holdings, Inc. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

テクノプロの重点SDGs



当社におけるデジタル技術の活用

- デジタル化の波により需要は増加、一方で、供給面では人材採用の競争激化を見込む
- デジタルトランスフォーメーション（DX）人材の育成と当社ビジネスのDXで、デジタル化のニーズをつかむ



外部環境

デジタル技術の社会への浸透
労働力人口の減少と高齢化



当社への影響

技術系人材の需要増加
デジタル人材の採用競争激化



経営課題

当社ビジネスも、デジタルを
積極活用した変革が必要



DX人材の育成

外部企業と提携して育成：メカ×AI バイオ×AI etc.
自社リソースによるトレーニングも拡充
コロナ禍でも教育研修投資は継続



デジタル化による事業変革

AIを活用したタレントマネジメントシステム
業務を効率化するバックエンドシステム
RPA導入による業務工数削減、生産性の向上

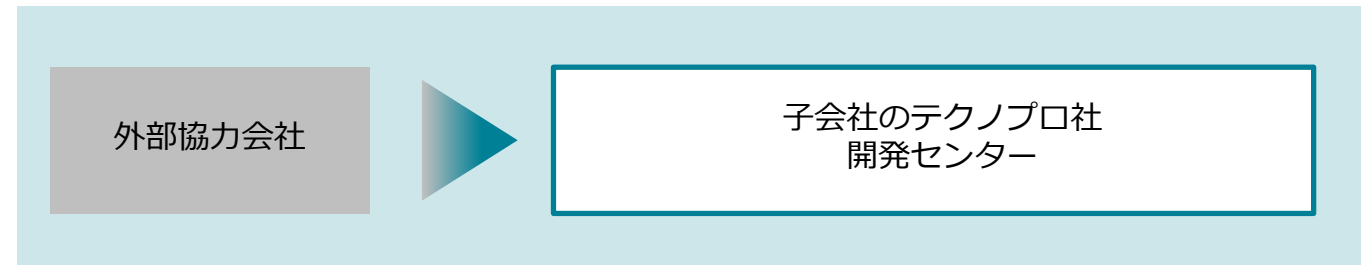
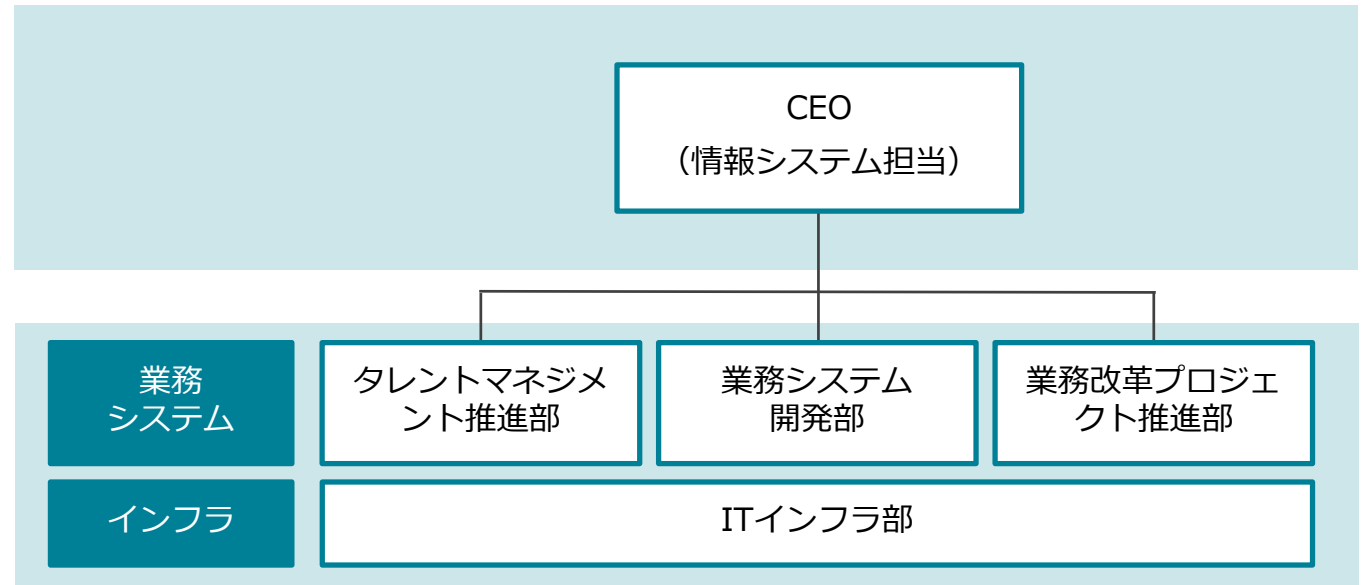
デジタル化の推進体制

- CEOがシステム部門をダイレクトに管掌し、デジタル化プロジェクトを推進（コロナ禍でのテレワーク推進に効果を発揮）
- 新たに着手したバックエンド業務*（請求、勤怠管理など）の基幹システム開発は内製化（技術者派遣業界最大手の業務ノウハウと自社開発センターの先端IT技術を結集したチーム編成）により、2023年1月までに段階的に開発、リリース予定

経営陣がデジタル化に
コミット

プロジェクト
専門部署を設置

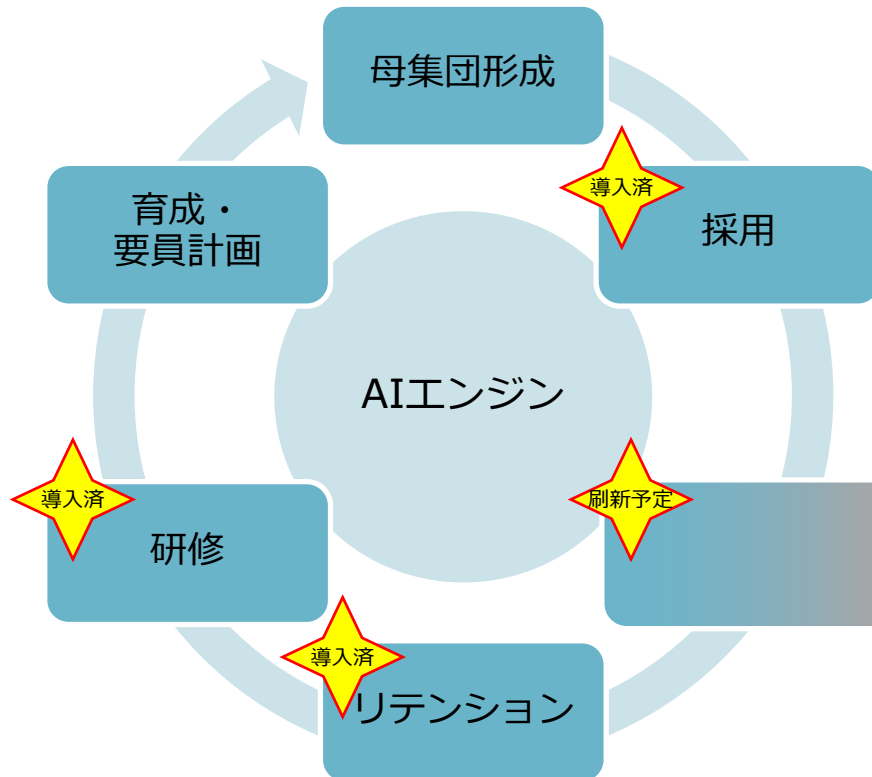
開発・運用の
内製化が進捗



フロントシステム刷新の進捗状況

- フロントシステムの刷新は、Sales ForceやSAPのパッケージをベースに、おおむね計画通りに進捗、今後も検証・修正を継続
- コロナ禍及びポストコロナに対応したインサイドセールス、営業機能の拡大にも新たに着手

タレントマネジメントシステム



既存の営業系システム



新中期経営計画の策定状況

COVID-19の影響により公表を先送りした新中期経営計画を、2021年夏の発表に向けて策定中

10年後のあるべき姿からのバックキャスト

- 当社のパーパス・ビジョン
- Post COVID-19における顧客ニーズ・技術・労働市場の動向
- グローバル化の進展

社外取締役・監査役も参画した骨太方針の検討

- これまで累計40時間を超える討議と広範な視点
- 成長志向とリスク管理のバランス
- M&A Playbookの策定とM&A戦略（投資枠や財務規律を含む）

コア事業の着実な成長と進化

- 付加価値創造の源泉としての技術者の育成やリスクリング
- デジタルを基軸としたソリューションサービスの展開
- 当社自身のDXによる事業変革

免責事項

当社は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、本資料を作成しておりますが、本資料の正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、将来に関する記述が含まれていますが、実際の業績は様々なリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、複製または転送等を行わないようお願いいたします。

— お知らせ —

当社では、Webサイトにおける新着情報の更新を、メールにてお知らせするサービスを実施しております。ご希望の方は右記QRコードよりご登録をお願いいたします。



TECHNOPRO

TECHNOPRO